

第3回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和元年6月26日（水） 午後2時00分

2. 場 所

ハートピアセンター 農事研修室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉
委 員 酒井 克典
委 員 中村 貴子
委 員 垣内 敬造
委 員 井上 友香

4. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟
次 長 酒井 宏
課 長 小林 康弘
課 長 森本 康幸
課 長 尾松 直樹
課 長 前中 斉
課 長 柏戸 隆弘
課 長 村上 由樹
館 長 樋口 裕昭
館 長 小林 純一
所 長 齋藤 昭
所 長 酒井 直隆
課 長 谷掛 昭二
係 長 成田 雅俊
係 長 田中 真紀子
主 事 河野 元秀

5. 議事日程及び議案

別紙の通り

6. 開会宣言

午後 2時00分

7. 会 期

（自）令和元年6月26日

（至）令和元年6月26日 1日間

8. 会議録署名委員名簿

井上 委員

9. 閉 会

午後 4時23分

| | |
|-----------------------|--|
| 前川教育長 全委員 前川教育長 | <p>日程第1、前回定例会議録の報告・承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p> <p>日程第2、会議録署名委員は4番井上委員とする。</p> <p>日程第3、会期は令和元年6月26日、本日1日間とする。</p> <p>日程第4、議案に移る。議案第1号の「丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」社会教育課説明を求める。</p> |
| 柏戸課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 酒井委員 | 社会教育委員に求める役割を教えてください。本来重要な役割の一つである諮問、答申は行われたことがあるのか。 |
| 柏戸課長 | 今まではない。 |
| 酒井委員 | 社会教育の重要性が議論される中、諮問、答申が行われたことがないことは問題があるように思う。しっかりと議論するためには、様々な経費を要すると考える。予算化はしているのか。 |
| 柏戸課長 | 社会教育委員に対する報償費等は計上しているが、意見を参考にし、今後検討していきたい。 |
| 酒井委員 | 委員の年齢、性別を教えてください。 |
| 柏戸課長 | NO, 6、8、10が女性委員である。全委員の年齢を把握できていない。 |
| 酒井委員 | 男女比は半々が望ましいと考える。社会教育を考えていくには、幅広い年齢の方が関わるのが望ましい。可能であれば、若年世代も関わってもらいたい。 |
| 柏戸課長 | 現状として、社会教育委員を選出していただいている選出母体に女性が少ない。 |
| 酒井委員 | 選出母体の現状を鑑みると難しい状況にあることは理解できるが、幅広い年齢の方が委員となる選出方法を検討してほしい。 |
| 柏戸課長 | 公募はどのように行っているのか。 |
| 酒井委員 | 基準に則り審査をし、選出している。3名の応募があった。 |
| 成田係長 | 応募者の応募理由を公表できる範囲で教えてください。 |
| 垣内委員 | 活発な地域コミュニティの形成のための学びをしたい、全ての地域住民が暮らしやすい地域共生社会を実現したいといった応募理由があった。 |
| 柏戸課長 | 委員の高年齢化について、委員数を増やし若年層を取り入れることは可能であるのか。 |
| 垣内委員 | 現状の条例では、委員の定数が定められているため不可能である。 積極的に若年層の意見を取り入れるべきであるので、条例の改正を検討し |

| | |
|-------|--|
| 酒井委員 | <p>でも良いのではないか。</p> <p>委嘱の時期を6月1日からへ変更したメリット、デメリットを教えてください。</p> |
| 柏戸課長 | <p>これまで、2年任期の更新時期については、4月に委員が内定しているが、6月の定例教育委員会での議案可決を待つ形となり、委員から活動がしにくいという意見があった。これが解消され、委員の積極的な活動が行いやすくなるのがメリットである。</p> <p>デメリットとしては、選出母体の委員任期が3月31日までの委員については、2か月のみ暫定的な委員を選出するという事務が発生する可能性があることである。</p> |
| 前川教育長 | <p>議案第1号の「丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」異議はないか。</p> |
| 全委員 | <p>異議なし。</p> |
| 前川教育長 | <p>全員賛成で、議案第1号の「丹波篠山市社会教育委員・公民館運営審議会委員の委嘱について」を可決する。</p> <p>補足説明を行う。</p> <p>社会教育委員の設置については、社会教育法により設置が努力義務となっているため空白期間が発生しても問題がなく、委員の活動を優先で考えた結果、委嘱時期の変更をしている。</p> <p>教育委員会事務局には、社会教育主事が在籍しており、また、公民館ではB&Gが実施している防災、教育などの社会教育に関する研修に参加した職員がいる。今後、社会教育主事、公民館、社会教育委員が連携し充実した社会教育を図りたい。</p> |
| 前川教育長 | <p>議案第2号「丹波篠山市立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例を市長に提案することについて」と議案第3号「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」は関連するため、一括提案、説明とし採決については、個々に行う。こども未来課説明を求める。</p> |
| 前中課長 | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| 酒井委員 | <p>無償化に伴い発生が予想される問題点を教えてください。</p> |
| 前中課長 | <p>実施してみなければ分からない部分が多いが、無償化に伴い利用者の増加が考えられる。また、事務量の増加も考えられる。</p> |
| 酒井委員 | <p>2018年度と比較し、待機児童数が3名増加したとあるが、どの園で発生しているのか。どのように対処する予定であるのか。</p> |
| 前中課長 | <p>(個人情報を含む内容のため非公開)</p> |
| 酒井委員 | <p>入園できないのは、職員の不足のためであるのか。</p> |
| 前中課長 | <p>園によって異なるが、職員配置の関係上入園ができない園もある。</p> |

| | |
|-------|---|
| 酒井委員 | 子育て一番を謳う市として、人員面で待機児童が発生することは問題があると思う。教育委員会、市長部局でしっかりと連携しこの問題を改善できるよう努めてほしい。 |
| 井上委員 | 今回の無償化で、全国どの自治体でも無償で幼児教育を受けることができる。丹波篠山市独自の良さを発信していかなければ、丹波篠山市から子どもが減っていくと思う。 |
| 前川教育長 | 今回は、国の施策に合わせて行う条例改正である。国の施策に合わせ、よりよい幼児教育となるよう努力していきたい。 |
| 全委員 | 議案第2号の「丹波篠山市立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例を市長に提案することについて」異議はないか。 |
| 前川教育長 | 異議なし。 |
| 前川教育長 | 全員賛成で、議案第2号の「丹波篠山市立幼稚園保育料徴収条例を廃止する条例を市長に提案することについて」を可決する。 |
| 前川教育長 | 議案第3号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし。 |
| 前川教育長 | 全員賛成で、議案第3号の「丹波篠山市預かり保育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を市長に提案することについて」を可決する。 |
| 前川教育長 | 日程第5、承認事項に移る。承認第1号「学校運営協議会委員の任命について」学校教育課説明を求める。 |
| 尾松課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 酒井委員 | 若年層の委員を任命し、活発な運営を図ってほしい。 |
| 前川教育長 | 承認第1号の「学校運営協議会委員の任命について」異議はないか。 |
| 全委員 | 異議なし。 |
| 前川教育長 | 全員賛成で、承認第1号の「学校運営協議会委員の任命について」を承認する。 |
| 前川教育長 | 日程第6、協議事項に移る。協議第1号「丹波篠山市総合教育会議の議題について」教育総務課説明を求める。 |
| 小林課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 前川教育長 | 市長部局とともに解決をしていかなければいけない教育課題について、教育委員の考えを求める。 |

| | |
|-------|--|
| 中村委員 | <p>子育て世代の転入により人口減少を緩和することについて提案したい。</p> <p>待機児童ゼロを目指すのであれば抜本的な改革について市長と協議が必要と考える。丹波篠山市独自の妊婦分娩産後ケアと保育の充実を図りたいと考える。</p> <p>本市は、就学前のすみ分けが分かりにくく、住んでいる地域で園の条件が異なる。市長部局で「子育て一番課」といった部署をつくり、保育の充実を担当させ、幼稚園教育を小学校の準備機関として教育委員会で担当する方が理解しやすい。</p> |
| 垣内委員 | <p>幼児教育と保育の無償化というのは切り分ける必要があると考える。</p> <p>本来は、市長部局が担うべき領域である保育を、教育委員会が担っている状況を認識し、分担していくことについて協議を進めるべきである。</p> <p>無償化によって保育士が不足する課題や、賃金面の課題は、教育委員会だけの課題ではない。</p> <p>保育の無償化は、父母等が働きやすい環境を整えるという目的もあるはずである。市長部局で父母等が働ける場所の提供をしっかりと対応したうえで、幼児教育は、教育委員会で検討し、決定することが重要であると考えます。</p> |
| 前川教育長 | <p>教育面についての議論よりも、仕組みづくりやハード面や人材のことについて議論を行うべきであるということか。</p> |
| 垣内委員 | <p>その通りである。働く場所が増えれば待機児童の解消につながることも考えられる。</p> |
| 酒井委員 | <p>市長部局がまちづくり視点での方向性を先に出さなければ、幼児教育について議論ができない。総合教育会議は、本来市長が主催し、意見があれば教育委員会が発言をする会議となっているはずである。総合教育会議の事務局も、本来は市長部局が担うべきであるが、教育総務課が担当している。市長部局からの提案や意見を論題として、会議を進めていかないと十分な論議ができないと思う。そのあたりの市長の考えが気になる。</p> <p>総合教育会議は、丹波篠山市の将来を見据えて、どういう子どもを育てていくのか市長部局と教育委員会と一緒に提案する会議であってほしい。</p> |
| 前川教育長 | <p>統計や今後の見込みなど、それぞれの施策を見合わせながら議論し、教育委員会で改革していかなければならない部分を明らかにしていくのが本来の総合教育会議の目的であり、政策決定の場ではなく、教育をよりよくするために意見を交わす場所であると考えます。</p> <p>現実として色々問題があるが、少しでも子育て中の市民のために精一杯努力していかなければならない。</p> <p>福祉部局で策定されたプランの中には、教育委員会ではできないと判断し凍結させた案もある。財政的見通しも財政計画もなかったため、議会にも承認を得て凍結した。市が策定したプランを凍結させるというのは非常に重く、いつ復活させるのかという問題もある。そういうなかでも教育行政を進めていかなければいけない実情もある。</p> |
| 酒井委員 | <p>子育て中の人々がどのように考えているか理解するために、子育てニーズ調</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| <p>前川教育長 井上委員</p> | <p>査アンケートの結果も提供してもらいたい。本市は就学前教育に少し不安があると、地域で声を聞くことはあるが、全体的な意見ではない。発言力のある人の声だけでなく、それ以外の人の声も知りたい。</p> <p>まちづくりは計画を大事にしていかなければならない。基本的な計画は、議会に提案し承認も得ており、それに沿って実施し、その都度、検証や見直しをしていくものであるがそれがない。総合計画や教育振興基本計画を立て、その中で知恵を出し合いみんなが納得するための議論を深めてほしい。</p> <p>市長とそのような方向性について議論を行いたい。</p> <p>本来、幼稚園教育は3年行うべきであると思うが、市の財政状況を鑑みると、3年は難しいと考える。無償ならば市民はどこ自治体でも選択できるので、他自治体とは違う魅力ある丹波篠山の教育をしていかなければならない。</p> <p>厳しい状況のなかでどのように子育て支援の充実を図ろうとしているのか市長の方向性を聞きたい。</p> |
| <p>酒井委員</p> | <p>第2次総合計画のなかでアンケートをとっており、8頁、「篠山市に満足をしている点」で教育の水準が高いという項目が、1.5%である。自然環境や景観が良いなどは73%である。丹波篠山市が選ばれる教育をやっているといかなければならない。</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>この集計はクロス集計でない。どの世代が答えたのか全く分からない。統計学が進歩しているにも関わらず、クロス集計をせずして分析をすることは危険性を持っている。数字が一人歩きしてしまう恐れもある。</p> |
| <p>酒井委員 前川教育長</p> | <p>総合計画を策定するにあたり、データの出し方も注意してほしいと思う。</p> <p>総合教育会議の議題の1点目は「教育大綱」について、2点目は、「子育て」について中心に議論を進めていきたい。</p> <p>協議事項第1号「丹波篠山市総合教育会議の議題について」を終了する。</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>日程第7、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課説明を求める。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>報告2「後援名義の使用承認について」教育総務課説明を求める。</p> |
| <p>田中係長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |
| <p>前川教育長</p> | <p>報告3「第120回丹波篠山市議会水無月会議一般質問について」教育総務課説明を求める。</p> |
| <p>小林課長</p> | <p>《議案書に基づき説明》</p> |

| | |
|--------------|--|
| 酒井委員 | 隅田議員の質問は、ハード面に対する対応が論点であったと考える。担当課である地域整備課等から答弁があるのが本来ではないのか。 |
| 小林課長 | 資料にあるのは教育長が答弁をしたものの抜粋である。ハード面の対応については地域整備課から答弁があった。 |
| 前川教育長 | 報告4「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求める。 |
| 尾松課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 酒井委員 尾松課長 | 18ページの内容について、関連機関と連携して対応はできているのか。福祉部局と連携した対応ができている。 |
| 前川教育長 | 報告5「令和元年度6月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課説明を求める。 |
| 尾松課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 中村委員 | 市内学力状況調査について、中学2年生が大幅に上昇しているのぜひ公表をしてほしい。また、小学5年生の学力が目標値より下回っているが、どのような対策を考えているのか。 中学校と小学校の学力プロジェクトチームとの連動、小学3年生のつまずきを早期発見し対応することで改善が図れるのではないだろうか。 丹波篠山の教育「概要版」3-1 確かな学力の確立学力向上プロジェクト事業が文字の羅列に終わらず、実績の伴う確かな事業に発展されることを期待している。 |
| 井上委員 | 回答できない問題で止まってしまい、全ての問題が回答できない児童、生徒が多くみられている。テストに対する取り組み方を指導してほしい。 |
| 前川教育長 | 学力状況調査は、学力の状況を把握し、よりよい授業にしていこうと行っているが、学力状況調査の意図、趣旨を教師が子どもたちに伝えられておらず、回答できない問題でつまずき、残りの問題が無回答になるケースが散見された。学力状況調査の意図を伝え、実のあるものとなるよう校長会等でも伝えている。 |
| 前川教育長 | 報告6「令和2年度使用教科用図書採択事務について」学事課説明を求める。 |
| 森本課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 酒井委員 | すでに実施しているが、資料には(案)の文字がついている。本来であれば、5月の定例教育委員会で報告することが望ましいのではないのか。 |

| | |
|--------------|---|
| 森本課長 | 6月の初めに県の方針が決定し、それに応じて市の方針を決めており5月の定例教育委員会での報告は難しいため、例年このタイミングでの報告となっている。 |
| 酒井委員 | 教科書改訂の時期はあらかじめ決まっており、事前にある程度のスケジュールは把握できるはずである。より市民に関心を持ってもらえるよう検討してほしい。 |
| 森本課長 酒井委員 | 次回からは対応できる部分については、対応できるよう検討していきたい。教科書が選定された理由等を知りたい。可能であれば、7月定例教育委員会では、教育委員に採択理由等を説明できる調査員の出席を希望する。 |
| 森本課長 | 例年、事務局である学事課から、協議会における調査員の報告内容の説明を定例教育委員会で行っている。より専門的な内容となると、難しいところもあるので対応を検討する。 |
| 酒井委員 | 教育委員会で協議が行われずに教科書が選定されることは、問題があるように思う。対応については、今後検討してほしい。 |
| 前川教育長 | 報告7「篠山城跡三の丸南広場の完成について」文化財課説明を求める。 |
| 村上課長 | 《議案書に基づき説明》 |
| 中村委員 村上課長 | 夜のウォーキング等で使用が考えられるが、照明の明るさはどの程度か。歩行に問題ない明るさである。 |
| 前川教育長 | 報告8「令和元年度第2回定例教育委員会（5月29日開催）上程議案についての補足説明」教育部長、中央図書館説明を求める。 |
| 稲山部長 | 《補足説明》 |
| 樋口館長 | 《補足説明》 |
| 前川教育長 | 報告9「教育長報告」について報告する。 それでは、第3回定例教育委員会をこれで終了する。 |